

冬道(積雪・凍結路)での安全運転のポイント

運転スタイルを早めに「冬型」に切り替えましょう!

■これからの季節、特に降雪・寒冷地では、積雪・凍結路でのスリップによる事故が多発します。天候の急変に備えて、早めにスタッドレスタイヤを装着するとともに、以下の運転テクニックを駆使して、スリップを防止しましょう!

1 ゆっくり発進する!

●発進時にアクセルを強く踏みすぎると、タイヤが空回り(空転スリップ)して、なかなか発進できなくなります。



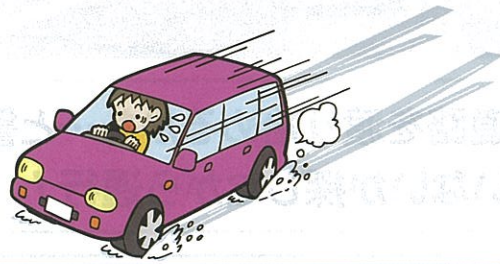
2 同時操作をしない!

●ハンドルを切りながらアクセルやブレーキを強く踏みすぎると、その瞬間に横滑りやスピンが発生する危険性が高くなります。



3 ブレーキはソフトに!

●特に凍結路面では、少しでもブレーキを強く踏みすぎると、タイヤの回転が止まって滑走し、制動距離が大幅に延びたり、ハンドル操作による進路のコントロールができなくなったりする危険があります。



大雪・吹雪による立ち往生が多発!

■近年、局所的な大雪で多くの車が道路上に立ち往生するトラブルが多発しています。

■悪天候が予想されるときは、車での外出を控えましょう。

■また、天候の急変による立ち往生に備え、車に防寒具や非常食、脱出用具などを積んでおきましょう。



下野地区交通安全だより

2023年

冬



ノウハウを学んで

「無事故」をゲット!

凍った湖面に開けた穴からワカサギを釣る「穴釣り」は冬の風物詩の一つですが、釣りの最中、不用意に歩き回って穴に足を突っ込みケガをするなどのトラブルも少なくありませんので、そうした危険に遭遇しないためのノウハウを事前に学び、しっかり実践することが肝心です。日常生活においても、道路には交通事故の危険が潜んでいます。どのような危険がどこに潜んでいるのかを学んだうえで、安全通行・安全運転をしっかりと実践することが大切です。

令和5年 年末の交通安全県民総ぐるみ運動

運動の期間 令和5(2023)年12月11日(月)から31日(日)までの21日間

交通安全スローガン 「マナーアップ! あなたが主役です」

- 運動の重点
- (1) こどもと高齢者の交通事故防止
 - (2) 飲酒運転等の根絶
 - (3) 自転車等のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底
 - (4) 「ライト4(フォー)運動」と「原則ハイビーム」の推進



上三川町・下野警察署
下野地区交通安全協会
下野地区安全運転管理者協議会

今、この瞬間もどこかで起きている交通事故… 他人事だと思っていませんか？

Q 交通事故(人身事故、以下同じ)は、全国で毎年何件が発生している？

A 約33万件 **約100秒につき1件**という高い確率で発生している計算！

※このチラシの事故データは、公益財団法人交通事故総合分析センターの統計データによる全国・2019～2021年の平均概数

- 交通事故は、決して他人事ではありません。
- いつか自分も事故に遭うかも、事故を起こすかも…という**当事者意識をもって安全通行・安全運転に努める**ことが大切です！

交差点では、どのような事故が多いの？

1 信号がない交差点の場合… 車と自転車の出会い頭事故

●その多くが住宅地に点在している交通量が少ない交差点であるため、地域住民が「ここはめったに車や自転車が通らないから…」と油断しやすく、安全確認をおろそかにして交差点を通行しようとした車と自転車が出会い頭に衝突する事故が多発しています。



だからドライバー・自転車利用者は必ず実践！ ふだん車や自転車があまり通らない交差点でも油断せず、必ず交差道路の安全を確かめてから通行！

2 信号がある交差点の場合… 右・左折車と歩行者・自転車の事故

●「青信号だから安全…」と、周囲の状況に目配りすることなく無警戒に横断歩道を通行していた歩行者・自転車と、横断中の歩行者・自転車への目配りを怠っていきなり右・左折しようとした車が、横断歩道上で衝突する事故が多発しています。



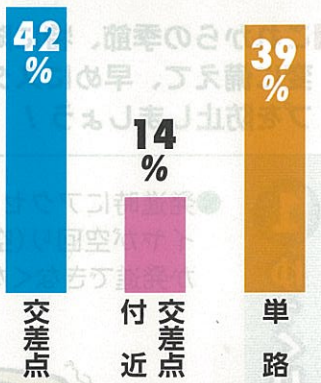
だからドライバーは必ず実践！ 右・左折前に、横断歩行者・自転車の有無をしっかりと確認！

だから歩行者・自転車利用者は必ず実践！ 横断歩道の信号が「青」でも油断せず、交差点を車が曲がってこないか確かめながら通行！

Q 交通事故は、どんな場所で多発している？

A 交差点での事故が40%以上を占めて最も多く、単路での事故も40%近くを占めています。

- 「単路」とは、交差点やその付近以外の直線・カーブ部分のこと、「交差点付近」とは、交差点からおおむね30メートル以内の部分のことです。



単路では、どのような事故が多いの？

1 住宅地の単路の場合… 車と横断歩行者の事故

●特に交通量の少ない閑散とした住宅地の単路では、ふだん車が通らないことに油断していきなり道路を横断した地域住民の歩行者と、人通りが少ないことに油断して無警戒に道路を通行していた車が衝突する事故が多発しています。



だからドライバーは必ず実践！ 歩行者が無警戒に道路を渡り始めるかも…と警戒し、道路脇に歩行者がいないか探しながら通行！

だから歩行者は必ず実践！ 横断前に道路脇で必ず一度立ち止まり、右左をしっかりと見て、車がきていないか確認！

2 交通量の多い単路の場合… 車同士の追突事故

●交通量が多く渋滞ぎみの道路をノロノロと走行しているとき、事故に対する警戒心がゆるみ、ついスマートフォンに手を伸ばすなどして無意識に脇見運転をし、減速・停止した前の車に追突する事故が多発しています。



だからドライバーは必ず実践！ 渋滞中も前車の動向をチェックし、いつでもブレーキを踏める構えで追従！

運転中のスマホ使用は厳禁！